

## 第2回法政大学情報メディア教育研究センター国際シンポジウム

### 「映像配信を利用した教育情報システムの最新事情」

#### ～ MOOCs, Post MOOCs に向けた最新動向～

現在 MOOCs が新たな学びの方法として世界的な規模で急速に普及しつつあり、日本でも JMOOC が設立されるなど注目を集めています。本センターでは昨年3月第一回国際シンポジウムで edX や Matterhorn などの米国の映像配信をベースとした教育情報システムをご紹介しましたが、今回引き続き米国の MOOCs や Post MOOCs を見据えた最新動向を、カリフォルニア大学バークレー校、カーネギーメロン大学で教育システム構築の最前線で活躍される講師の方をお招きしてお届けするとともに Matterhorn 映像配信システムの国際化を進めるプロジェクト紹介、さらに JMOOC をはじめとする日本の MOOCs、反転授業など新しい意欲的な取り組みをご紹介致します。

開催日： 2014年3月7日（金）10:00-17:05

場 所： 法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー26F スカイホール

主 催： 法政大学情報メディア教育研究センター

共 催： 法政大学教育開発支援機構 FD 推進センター

定 員： 200名

参加費： 無料

申し込み: 下記ホームページから参加申し込みをお願いします

[http://www.media.hosei.ac.jp/intl\\_sympo2014/](http://www.media.hosei.ac.jp/intl_sympo2014/)

#### プログラム

- 10:00- 10:05 開会のご挨拶 法政大学常務理事 福田 好朗
- 10:05- 10:45 基調講演【同時通訳】  
日本におけるオープンエデュケーションと JMOOC  
放送大学学園理事長・JMOOC 理事長 白井克彦
- 10:45-11:05 学会報告【アトランタよりライブ】  
MOOC 出現による教育および学習の展開に関する国際会議(The First Annual ACM Conference on Learning at Scale) 報告  
法政大学 寺脇由紀、愛知教育大学 鎌田敏之
- 11:05- 11:45 基調講演【同時通訳】  
カリフォルニア大学バークレー校における MOOCs と  
ポスト MOOCs への取り組み  
Scott Shireman, COO, UC Berkeley Resource Center for Online Education  
CIO, UC Berkeley Extension
- 休憩(11:45-12:00)
- 12:30- 13:00 ランチョンセミナー【同時通訳】  
講義自動蓄積・配信システムの最新動向 ～オープンキャスト・マッターホルンプロジェクトとそのグローバル展開に向けて～  
Tobias Wunden, CTO, Entwine

休憩(13:00-13:30)

- 13:30- 14:00 カーネギーメロン大学のオープンエデュケーション戦略【同時通訳】  
TBD, Carnegie Mellon University
- 14:00- 14:30 Google Apps for Education を基盤とするコードアカデミー高等学校  
慶應義塾大学 SFC 研究所客員上席所員・  
コードアカデミー高等学校スーパーバイザー 松村太郎

休憩(14:30-14:40)

- 14:40-15:05 CHiLO プロジェクト：新しいオープンエデュケーションの形  
帝塚山大学 TIES 教材開発室 堀真寿美
- 15:05-15:30 大規模オンラインコースの構築を目指す小さな試み  
NPO 法人 CCC-TIES, 武蔵学園情報システム部小野成志
- 15:30-15:55 B B T 大学の実践から展望するオンライン教育の将来  
B B T 大学副学長 伊藤泰史

休憩(15:55-16:10)

- 16:10-16:35 SPOC を取り入れた反転授業の取り組み事例  
法政大学 飯塚康至 江島夏実, 寺脇由紀, 入戸野健、坂上学、児玉靖
- 16:35-17:00 米国における MOOCs とポスト MOOCs の最新動向  
カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、法政大学 児玉靖司
- 17:00- 17:05 閉会のご挨拶 法政大学情報メディア教育研究センター所長 八名和夫
- 17:20- 19:00 情報交換会 (会費制 4,000 円)